

# 事業者：自己評価表

平成31年4月実施

		チェック項目	意見及び今後の対応
環境・体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	現在特に問題はない。
	②	職員の配置数は適切であるか	現在特に問題はない。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	設備が古く、段差が多い箇所についてはスタッフ間で協力して対応する。新設の施設ではないためバリアフリーにするのは難しいが、その分子どもたちへの対応に配慮しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	定期的な研修や面談を通じて個々の業務改善に努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	今後定期的な実施により業務改善につなげていきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ニュースレターの作成は一旦中止しているが、ホームページを通じて情報の更新を行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	業務ごと、事業所ごと、個人と場面に応じて定期的に行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	保護者とのモニタリングを行うことで家庭での状況を聞き取り、支援に反映することができている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	現在は法人として共通したものを使用していないが今後検討したい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	ミュージックチーム、アートチームに管理者児発管チームと役割に分かれてチーム編成されている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	それぞれのチームごとに会議の機会を設け、管理者を中心に支援内容を練っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	休日の特別プログラムや、長期休暇の多方面の送迎支援などを通じて、希望のある程度応じることができていると感じる。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しているか	実施できている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	朝のミーティングで、児童の欠席や送迎の変更などの情報共有を欠かさず実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	当日の話し合いや報告が難しい場合があるが、翌日への申し送りに記入し、翌日の朝ミーティングで報告を行う。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	記録は毎日データ入力している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断しているか	常に保護者と連携を取りながら、児童の様子に応じてモニタリングを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	明確化されていないができていていると感じる。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	今のところ受け入れたことがない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	保護者を通じての情報共有となる場合が多いが、情報を提供してもらうよう努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	まだ対象者はいないが、今後求められることがあれば実施していきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	定期的な研修受講などはないが、個別の先生とのやり取りは現在ある。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	自事業の中で、健常児との交流の機会を設ける活動を行っている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	年に1回は出席するようにしている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	支援（レッスン）の終わりには様子をお話している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	特に実施していない。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	なるべく家庭の様子、学校での様子を保護者の方から伺うよう心がけている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在は実施していないが今後検討していきたい。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	社内での対応ルールは整備されている。対応している。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	ニュースレターを発行していたが現在休止して。イベントなどを実施したときには、報告を掲示している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	鍵付きの書庫で対応している。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	なるべく保護者との会話を心がけ、配慮している。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	コンサートを通じて地域の方との交流の場作りに努力している。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	すべては整っていないが、順次対応できるようにしていく。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	行っている。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	社内研修の中で議題に挙げ共通認識を持つよう心がけている。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、計画に記載しているか	現在拘束の必要な事態はないが、今後事態が発生した場合計画作成と説明を徹底していきたい。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ひやりはつとのファイルを作成し、個々に気づいた職員が記入すると同時に、翌日の朝ミーティングで情報共有するよう徹底している。